記者懇談資料



すーっと心の深呼吸。
いざ、庄内。

令和８年 11 月 26 日
庄 内 総 合 支 庁

令和８年度山形庄内夏の観光キャンペーンの実績

１　庄内地域の観光の概況（前年同時期（７月～９月）比）

（１）　来訪者数

○　「デジタル観光統計オープンデータ」(※）による集計

山形県庄内地域（戸沢村を含む）の観光来訪者数は、プロモーションや誘客対策等に取り組んだことにより約 15%（約 21 万人）増加した。

(※)「デジタル観光統計オープンデータ」…（公社）日本観光振興協会公表

（２）　宿泊施設

○　聞取りによる業況

鶴岡市内の主要な温泉地の利用者数は、プロモーションや誘客対策等に取り組んだことにより各温泉地で約７％から約 26%増加した。一方で酒田市内の主要なホテルの宿泊者数は、概ね横ばいとなった。

（３）　立ち寄り施設・イベント

○　聞取りによる業況

午歳御縁年となる羽黒山やリニューアルした東北エプソンアクアリウムかもすいといった話題性が高い施設の入込数は、約 20%から約 30%増加した。また、好天に恵まれた花火大会の入込数は増加した。

（４）　交通の利用状況

○　公表情報及び聞取りによる業況

本キャンペーン期間中、JR 東日本では酒田駅及び鶴岡駅の利用者数が増加したほか、お盆期間（8/7～8/16）の「特急いなほ」の利用者数は約 12%増加した。また、庄内空港においては羽田便の利用者数がやや増加したほか、管内の主要なレンタカー取扱店舗における貸渡件数も各店舗で約 10%増加した。

２　本キャンペーンの直接効果（試算）

令和７年度の山形県における観光消費額単価（日本人）を用いて試算すると、本キャンペーンの直接効果は約 20 億８千万円となった。

※本試算による直接効果の値は、公益社団法人日本観光振興協会の「観光者来訪者定義」に基づき集計された庄内２市３町と戸沢村の令和７年観光者数と、令和８年の観光者数を比較し、増加した人数と、山形県が行った令和７年の観光消費額単価（令和８年ではない）を用いて試算した『参考値』です。

問合せ先
産業経済部地域産業経済課観光振興室
観光振興専門員　小林　加恵子
電話　０２３５－６６－２１２６
広報監　総務企画部長　吉田　正幸